COP直前ウェビナー

原発×気候変動

ーー開催国トルコの人々の声は？

2026年11月4日（水）15:00-16:00

@zoom



FoE Japan

ゲスト
気候ネットワーク
森山拓也 さん

FoE Japanについて



- Friends of the Earth Internationalのメンバー団体
- 歴史　1980年1月設立
- 所在地　東京都板橋区
- スタッフ　約20名（常勤・非常勤）
- 活動分野　気候変動・エネルギー、脱原発と福島支援、開発金融と環境、森林保全

74か国のメンバー団体
200万人のサポーター

活動のアプローチ

日本の市民が関わって起きている問題ならば、日本の市民の力で変えたい。
「変えたい！」という声を集めて、大きな力にし、社会を変えていく。

目指す世界

地球上のすべての人々と生物が互いに共生し、
尊厳をもって生きることができる平和で持続可能な社会を！

FoE Japan



原発と気候危機

FoE Japan　**深草亜悠美**

2026年11月4日

COPとは?

- COPとは？⇒Conference of Parties（締約国）の略
  - 「『気候変動枠組条約（UNFCCC）』の締結国が集まる会議

- UNFCCC（United Nations Framework Convention on Climate Change）とは？
  - 1992年にリオデジャネイロにて採択された、地球温暖化問題に関する国際的な条約。
  - 1994年3月21日に発効。
    - 京都議定書（COP3, 1997）
    - パリ協定（COP21, 2015）
- 今年はトルコで開催。オーストラリアが共同議長を務める。



COPでは様々な点が議論される

論点	争点
緩和	各国の削減目標がどれくらい進んでいるか、どう加速できるか　など
気候資金	先進国から途上国への気候資金の拠出と、途上国がそれを実際に利用できる仕組みになるかなど
適応と損失・損害	ネパールや世界各地で大規模災害が発生。損失・損害基金への資金拠出の具体化 など
公正な移行	脱炭素の「速度」だけでなく、石炭・石油・ガスからの移行をいかに公正に行うか など
海洋・食料・生物多様性	議長国は海洋もテーマの一つとして重視
	などなど…

電化と脱化石燃料

- COP28ドバイ会議で採択された文章に初めて脱化石燃料の目標が含まれた
  - ２０３０年までに世界の再エネ容量を３倍に、エネルギー効率を２倍に
- 同時に炭素回収貯留や原発など、「誤った対策」も低炭素電源の事例として含まれた
- COP28の会場では世界の原発を３倍にする宣言も米国等中心に出されたが、交渉の外。賛同国は23(*)、再エネ３倍宣言に賛同した123と比べ非常に少なかった

- アメリカ、ブルガリア、カナダ、チェコ、フィンランド、フランス、ガーナ、ハンガリー、日本、韓国、モルドバ、モンゴル、モロッコ、オランダ、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スウェーデン、ウクライナ、アラブ首長国連邦、イギリス、アルメニア

27. *Also recognizes* that limiting global warming to 1.5 °C with no or limited overshoot requires deep, rapid and sustained reductions in global greenhouse gas emissions of 43 per cent by 2030 and 60 per cent by 2035 relative to the 2019 level and reaching net zero carbon dioxide emissions by 2050;

28. *Further recognizes* the need for deep, rapid and sustained reductions in greenhouse gas emissions in line with 1.5 °C pathways and *calls on* Parties to contribute to the following global efforts, in a nationally determined manner, taking into account the Paris Agreement and their different national circumstances, pathways and approaches:

(a) Tripling renewable energy capacity globally and doubling the global average annual rate of energy efficiency improvements by 2030;

(b) Accelerating efforts towards the phase-down of unabated coal power;

(c) Accelerating efforts globally towards net zero emission energy systems, utilizing zero- and low-carbon fuels well before or by around mid-century;

(d) Transitioning away from fossil fuels in energy systems, in a just, orderly and equitable manner, accelerating action in this critical decade, so as to achieve net zero by 2050 in keeping with the science;

(e) Accelerating zero- and low-emission technologies, including, inter alia, renewables, nuclear, abatement and removal technologies such as carbon capture and utilization and storage, particularly in hard-to-abate sectors, and low-carbon hydrogen production;

(f) Accelerating and substantially reducing non-carbon-dioxide emissions globally, including in particular methane emissions by 2030;

(g) Accelerating the reduction of emissions from road transport on a range of pathways, including through development of infrastructure and rapid deployment of zero- and low-emission vehicles;

(h) Phasing out inefficient fossil fuel subsidies that do not address energy poverty or just transitions, as soon as possible;

29. *Recognizes* that transitional fuels can play a role in facilitating the energy transition while ensuring energy security;

電化と脱化石燃料

- 議長国主導の「35 by 35」　：COPに先立ち、COP31議長国トルコは電化目標を提案
  - 2035年までに世界の最終エネルギー消費に占める電力の割合を約23%（2026年時点）から35%へ引き上げる。
  - 「近代的で強靭な送電網とともに、多様で持続可能なエネルギー源によって支えられた」
  - 脱化石燃料については触れておらず、具体的なエネルギー源については触れていない
- 市民グループ「正しい電化を」：Electrification done right
  - 電化目標を支持するが、「ガードレール」が必要
  - 電化目標から化石燃料や原発を除外することを明示的に要求

「正しい電化を！」要請事項

1. 電化は、化石燃料への依存を延長するのではなく、再生可能エネルギーを活用し、化石燃料への依存を削減するものでなければならない。
2. まずエネルギー効率の向上とエネルギー需要の適正化を優先し、データセンターよりも人々の暮らしを優先しなければならない。
3. 電化は、エネルギーへのアクセス格差を解消するものでなければならない。
4. 世界共通のベンチマーク（基準）を、各国の目標や政策を通じて実現しなければならない。
5. 電力網とエネルギー貯蔵設備は、再生可能エネルギーの導入を前提に整備するとともに、地域コミュニティの権利を尊重しなければならない。
6. 高い目標を掲げるだけでなく、それを裏付ける公的資金と、実際に実行するための具体的な手段を確保しなければならない。
7. エネルギー転換に必要な鉱物資源の採掘において、これまでの資源採掘がもたらしてきた弊害を繰り返してはならない。



原発は気候変動対策？

Youtube


理由1
解決不能な核のごみ


実は高かった、
原発の値段
理由2


Photo DigitalGlobe CC-BY-NC-ND
理由3
原発は不安定で
リスクが大きい。


理由4
原発を止めても
CO2は減少


理由5
再生可能エネルギー
100%は可能